

X線分光撮像衛星（XRISM）及び 小型月着陸実証機（SLIM）の打上げ結果について

2023年（令和5年）9月7日

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

X線分光撮像衛星（XRISM）及び小型月着陸実証機（SLIM）は、H-IIAロケット47号機（H-IIA・F47）により、種子島宇宙センターから2023年9月7日8時42分11秒（日本標準時）に打ち上げられました。

ロケットは計画通り飛行し、XRISMは打上げから約14分09秒後、またSLIMは約47分33秒後にロケットから正常に分離された事を確認しました。

今回のXRISM及びSLIMの打上げ実施にご協力頂きました関係各方面に深甚の謝意を表します。

小型月着陸実証機（SLIM）の地球周回フェーズから 月遷移フェーズへの移行完了について

2023年（令和5年）10月2日

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、2023年9月7日午前8時42分11秒（日本標準時）に種子島宇宙センターからH-IIAロケット47号機で打ち上げられた小型月着陸実証機（SLIM）の地球周回フェーズを終了し、2023年10月1日 午前2時40分（日本標準時）に月へ向かうための軌道変更を行い、月遷移フェーズへの移行を完了しました。

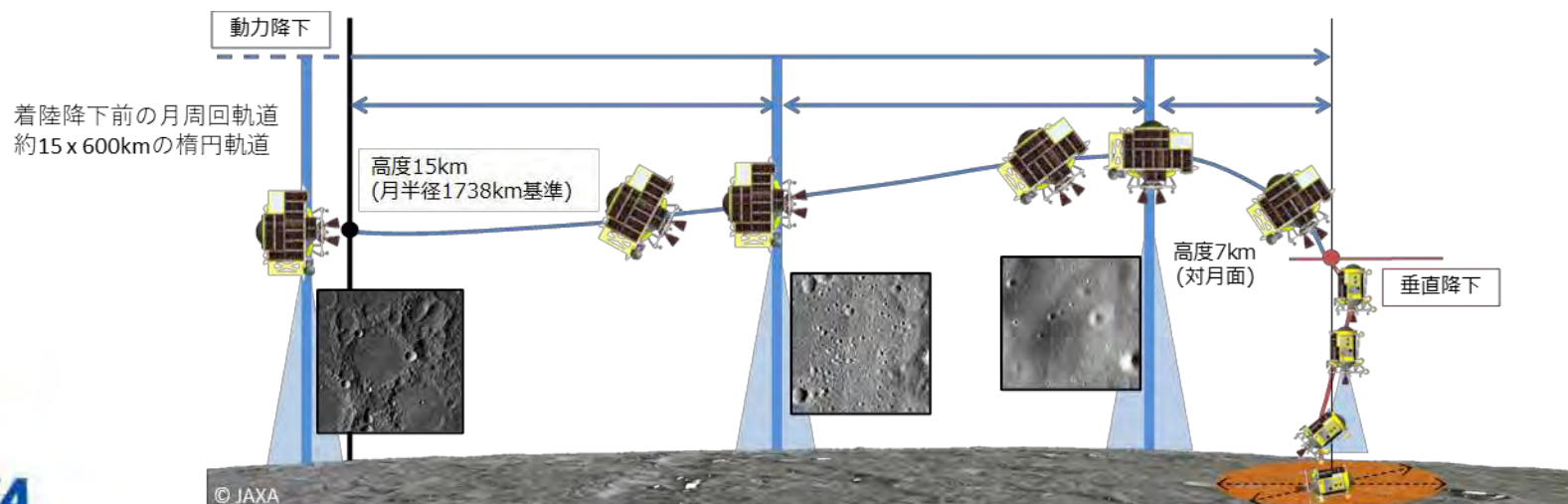
現在、探査機の状態は正常です

1. XRISM

- 2023年10月～11月 ミッションチェックアウト
- 11月下旬 ファーストライト観測（ファーストライト公開は12月中旬予定）
- 12月頃 定常運用移行

2. SLIM

- 12月下旬 月周回軌道投入
- 2024年1～2月 月面着陸



動力降下開始後の着陸シーケンス

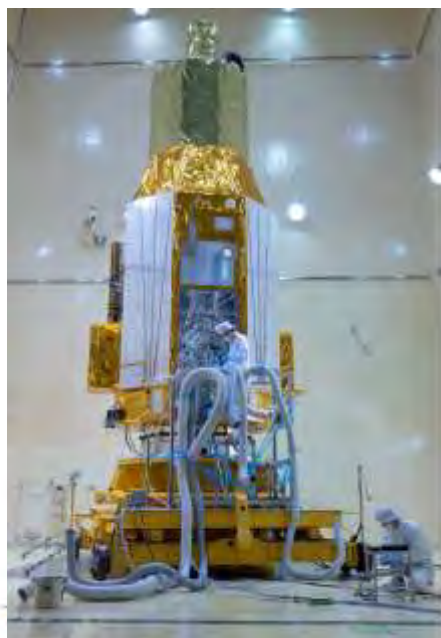
【参考】X線分光撮像衛星「XRISM（クリズム）」

宇宙の謎に迫る世界最先端の宇宙望遠鏡

～X線でしか解明できない宇宙の熱く激しい活動・天体を観測～

X線を集める望遠鏡

X線望遠鏡(XMA)



XRISM



XRISM衛星運用管制室

月面に世界で最も高精度（精度100m以内）で着陸する技術を実証。
日本独自の高精度月着陸技術を獲得。
アルテミス計画（月面有人探査）における国際協力に向けた戦略技術。



SLIMの着陸時に2つの小型ロボットを月面に放出予定。

JAXAが開発した1台（LEV-1）に加え、株式会社タカトミー、ソニーグループ株式会社、同志社大学、JAXAが共同開発した変形型月面ロボット（LEV-2。愛称「SORA-Q（ソラキュー）」）を放出。

